# 令和４年度予算　主要事業①

## いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

### ■小児屈折検査体制整備事業【新規】264 千円

乳幼児健診で使用する小児屈折検査機器の整備を行い、弱視の検知及び適切な治療を早期に開始できる環境を整えます。

### ■マタニティクラブへの助産師派遣事業【新規】16 千円

妊婦さんが妊娠・出産・産後についての正しい知識を獲得し、妊娠中や出産の不安・疑問解消及び妊婦さんの交流を目的としたマタニティクラブへ助産師を招聘し、母体管理や生活面の指導等に取り組みます。

### ■高齢者等活躍の場応援事業【新規】337 千円

現在ある介護ボランティア・シルバー人材センター等の相談窓口を一本化し、気軽に相談できる環境を整備し、高齢者が健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり交流することが出来る事業を行います。

### ■軽度・中等度難聴者（児）補聴器購入費助成事業【新規】372 千円

身体障がい者手帳の該当とはならない「軽度・中等度」難聴者の積極的な社会参加や地域交流を支援し、社会福祉の増進に寄与することを目的に補聴器購入費を助成します。

### ■新型コロナウイルス感染症対策【継続】12,957 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの接種に向けた体制の確保及び接種に係る費用を計上するとともに、感染者の濃厚接触者等のための自主隔離施設を設け、不安の軽減と地域における感染拡大を最小限にするための対策を講じます。

### ■高齢者住宅等周辺整備事業【新規】266,604 千円

沼田町農村型コンパクトエコタウン構想では、歩いて暮らせるまちづくりを進めており、その範囲内に位置する「暮らしの安心センター」周辺に、冬期間の除雪などに不安もなく、安心して生活することができる「高齢者住宅（１棟５戸）」の建築及び周辺の整備を行います。

## にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

### ■沼田町食糧貯蔵流通基地構想と沼田版シリコンバレー構想の実現に向けた新たな企業誘致戦略事業【新規】　3,300 千円

沼田町で今まで取り組んでいる各種事業（移住定住関連事業、企業誘致推進事業等）の事業成果や、企業とのつながりについて整理し、企業ニーズをとらえた、地方進出を検討する企業への戦略的な誘致活動を展開して行きます。

# 令和4年度予算　主要事業②

## にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

### ■鳥獣被害防止対策及び加工用トマト生産拡大事業【新規】323千円

有害鳥獣問題に関心を持つ北海道内の大学生によるサークルと連携し、本町で鳥獣対策を研修し、農業被害の実情と駆除の重要性への理解を深めて頂き、併せて加工用トマトの収穫体験を実施し、今後の労働力不足解消に向けての検討を行うとともに、関係人口の創出・拡大を目指します。

### ■加工用トマト活用拡大推進事業【新規】710千円

沼田町は日本一の加工用トマトの産地を目指し、栽培面積・収量拡大のための新しい技術の導入、収穫した加工用トマトの活用先、製品の流通網整備などの課題解決へ取り組みます。

また、北海道内の他の産地、関係企業・団体などとの連携を図るため、北海道における加工用トマト拡大協議会の設立に取り組みます。

### ■加工用トマト家庭菜園栽培活用事業【新規】

沼田町民の家庭菜園にて加工用トマト「なつのしゅん」を栽培いただき、加工用トマト産地としての認知度向上を目指します。

また、加工用原料の栽培普及（特産品原料の安定供給）へ取り組みます。

### ■稲作経営超低コスト化体質強化事業【新規】2,100千円（中山間事業）

米価下落等により、農業収入が大幅に減少しており、生産コストの低減が体質強化に不可欠であることから、大幅な生産コスト削減を目指し、先進地視察など、コスト削減に向けた取り組みの検討を進めます。

### ■気象予測システム実証試験事業【新規】1,000千円（中山間事業）

令和４年度から民間企業において気象予測システムの運用が始まることから、本システムを活用した運用を行い、農作業の効率化、生産管理に活かす実証試験を実施します。

## にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

### ■沼田町特産品開発事業（クラフトビール）【新規】4,724千円

沼田町にはトマトジュースや雪中米をはじめとした様々な特産品がありますが、新たな特産品として「クラフトビール」の開発を行い、受容性調査から町内料飲店での販売、醸造までを目標として、沼田町の新たな特産品開発に取り組みます。

### ■ぬまた町元気応援商品券配布事業【第５弾】15,874千円

コロナ禍において、人流減少の影響を直接的に受けている町内商店等の消費喚起と町民生活を支援するため商品券をお配りし、地域の元気回復を図ります。

《事業概要》配布対象　基準日以降、本町の住民である全町民（和風園、旭寿園、なごみを除く）

交付額　一人につき5,000円（共通3,500円、飲食限定1,500円）

# 令和4年度予算　主要事業③

## にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

### ■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【継続】　24,056 千円

幌新地区の温泉・ほたるの里を含めた地域資源を活かして、地域ブランドの醸成と発信や町民の交流をコーディネートする組織「(仮称) 沼田自然学校」の設立準備に取り組みます。

自然学校では、自然体験事業を実施するほか、ノマドワーカーを定期的に招き、様々な活動を行う場を構築するとともに関係人口・交流人口の増加を促進し、「地域の稼ぐ力」を発揮することで地域の活性化を図ります。

### ■ほたるの里　夏の SNOW マラニック【新規】

自分のペースで無理なくマラソンを行える「マラニック」を開催します。コースの途中には本町の特産品を味わえる休憩所をご用意し、またゴールでは火照った身体を雪でアイシングなど、沼田町でしかできないイベントを開催します。

## ゼロカーボンに向けたまちづくり

### ■再生可能エネルギー導入支援事業【新規】　2,000 千円

再生可能エネルギー設備（太陽光発電・太陽熱利用・バイオマス熱利用・雪冷熱利用等）を自己消費として事業の用に供するために導入する費用の一部を助成します。

«事業概要»

〔対象者〕

①本町の住民基本台帳に記載されている者で自ら事業経営（農業者含む）を行っている方

②本町に事業所若しくは営業所を有する法人（農業生産法人、農事組合法人含む）

③新たに購入する再エネ設備等を設置する者

〔対象設備〕　太陽光発電、太陽熱利用、バイオマス熱利用、雪冷熱利用　等

〔補助要件〕　熱利用や発電に関係なく、再生可能エネルギーを自己消費により事業の用に供することを目的とした導入設備に限る。（売電を目的とする事業は対象外）

〔補助率〕　・雪冷熱エネルギー　4/5 以内（上限 2,000 千円）

・その他再生可能エネルギー　2/3 以内（上限 2,000 千円）

### ■町有林管理事業【新規】2,500 千円

町有林の作業路開設及び間伐（受光伐）等、森林施業をおこない、施業による二酸化炭素吸収効果の向上と、間伐した木材を加工・販売により付加価値を生み出し、ゼロカーボンを推進します。

### ■私有林森林整備振興事業【新規】107 千円

下刈や間伐などの森林整備事業に対する助成を行うことにより、計画的な森林施業の推進を促進し、二酸化炭素の森林吸収量の確保など森林の有する多面的機能の発揮を図ります。

# 令和4年度予算　主要事業④

## にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

### ■移住定住ブランディング戦略事業【継続】1,294 千円

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

### ■地域おこし協力隊定住支援事業　【新規】1,000 千円

沼田町地域おこし協力隊任期終了から１年以内の方が、町空き家バンクに登録された居住用住宅（任期中に居住していた住宅を除く）を取得し、リフォーム又はリノベーションに要する費用の一部を助成します。

## 希望を育むまちづくり

### ■沼田町総合教育計画策定事業【新規】860 千円

沼田町第２期総合計画を策定し、人づくり・地域づくりについて町民と考えることで、持続可能な地域づくりを目指します。10 年先を見据えた教育を示す指針とし、教育・文化・スポーツ分野における満足度の向上を図ります。

### ■町営スキー場ロッジ新築工事【新規】245,000 千円

地元の小中学生等を中心に多くの方々から親しまれ、冬期間のスポーツ振興・体力向上を図る場でもある高穂スキー場のリフト及びロッジが老朽化していることから、リフトの更新及びロッジを新築し集客の拡大を目指します。

### ■高穂スキー場リニューアル記念事業【新規】300 千円

高穂スキー場のリフト更新及びロッジ新築を記念して、リニューアル記念式を行います。記念式には、餅撒きをはじめ、豚汁配布、オリンピアンのデモ滑走、トークイベントなどを計画しております。

### ■文化財及びレプリカ工房移転事業【新規】7,429 千円

旧ふるさと資料館及びレプリカ工房の建物の老朽化に伴い、文化財及びレプリカ工房を移転し、貴重な収蔵品の展示に向けた整理を行います。

### ■化石体験館リニューアル記念事業【新規】1,155 千円

ヌマタネズミイルカの新たな復元骨格（レプリカ）の完成を記念した事業を行います。イベントでは復元骨格の除幕式を行い、ヌマタネズミイルカに関わっていただいた研究者を招き、ヌマタネズミイルカに関する講演を行います。